



岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売) (265)0265
(広告) (266)4791
(事業) (265)0267

多治見支局
0572(22)3121
Fax(23)5331

大垣支局
0584(78)2030
Fax(74)6460

高山支局
0577(32)0350
Fax(34)5215

関支局
0575(22)3234
Fax(24)3939

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052(221)0800
Fax(221)0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

東濃地域を中心に県内各地に運びこまれた放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」は、製造元の石原産業が自主撤去することになった。リサイクル商品とされた赤い土が、不法投棄しながらに放置されていることを住民グループなどが問題提起し、行政や大企業を動かした。放置の現場では何が起っていたのか、撤去で問題は解決するのか、その課題を追った。

赤い土の波紋

フェロシルト放置の現場

子どもたちが小学校へ登校を始める午前七時。可見市大森平林地区の住宅街を、赤い土を満載にしたダンブカーが隊列を組んで走り抜けた。ダンブカーは次から次へとやって来て、団地内の空き地に赤い土を降ろして帰っていった。

「こんな肥料はない」

住民が直感、結末

「なんだ。これは？」
「不審に思った区長の宮島鉦二さんが、マイカーでダンブカーを追いかけた。」
朝の通勤ラッシュに巻き込まれ、当初のダンブカーを見失ったが、すぐ後ろから来る別のダンブカーの後ろにつき直した。追跡劇は三時間に及んだ。隊列は県境を越え、車一台がやっと通れるような道を抜けて、愛知県瀬戸市の山の中へ。行き着いた先には、おびただしい量の赤い土が放置されていた。



石原産業の社員らに不安を語る可見市大森平林地区の住民＝6月12日、可見市大森の平林公民館で

追及

宮島さん「町内には井戸水を使っている家もある。重金属や放射線は、自分たちの世代だけではなく、子どもたちの代に残った。この赤い土がフェロシルトといくもの。これは問題だ」。平林自治会は、金属や放射性物質が含まれているリサイ

フェロシルトは、白色の塗料や光触媒などに使われる酸化チタンの精製過程に出る硫酸廃液に、消石灰などの中和剤を混ぜて土状にした埋め戻し材。鉄と石こうが主成分で、微量ながら放射

フェロシルトは、白色の塗料や光触媒などに使われる酸化チタンの精製過程に出る硫酸廃液に、消石灰などの中和剤を混ぜて土状にした埋め戻し材。鉄と石こうが主成分で、微量ながら放射

産業、リサイクル商品として推奨した三重県と三者懇談を実現させ、フェロシルトの問題点を指摘した。

石原産業の担当者を招いて、大森平林地区で開かれた説明会では、不安が爆発。住民らは「早く持ってきたら」とフェロシルトの撤去を強く迫った。宮島さんは「住民一丸となって撤去を迫ることができた」と振り返る。石原産業が岐阜県を要請を受け、県内のフェロシルト全量撤去の表明をしたのは、この四日後だった。



岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267

多治見支局
0572(22)3121
Fax(23)5331

大垣支局
0584(78)2030
Fax(74)6460

高山支局
0577(32)0350
Fax(34)5215

関支局
0575(22)3234
Fax(24)3939

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052(221)0800
Fax(221)0819
Eメール

center@chunichi.co.jp

赤い土の波紋

中

フェロシルト放置の現場

ロシルトを運び込んだ業者は、借りた土地の地権者に「土の仮置き場にす」と説明しながら、穴を掘ってフェロシルトを埋めた。

これらの行為が住民の不安を増大させた。土岐

市環境課は

六価クロム 顔料やあり、土壌や水質の環境基準が定められている。金属メッキなど。金の調査で、フェロシルトが搬入された可児市久々利、瑞浪市稲津町、土岐市泉町の三方所で、環境基準の十五〜三倍が検出された。

東濃・可児地域で確認されたフェロシルトの多くは、管理も不十分で、目的も定かではない状態のまま放置され、各地の住民から「不法投棄ではないのか」と不安の声があがっていた。

土岐市泉町の国道21号沿いの山林斜面には、赤

不審

「当初は有害物質とまでは言えなかったのですが、土という名目で山林に放置されただけで対応は難しく、土壌中の放射能値は安全なもの」と説明していた。しかし、

現場から、有害な六価クロムが最高で環境基準の十五倍も検出された。石原産業は三重県にリサイクル認定を取り下げ、岐阜県内の全量を撤去することになった。

本当に安全なの？

黒い土が、まるで捨てられたように運び込まれた。付近住民の話では、ダンブカーが人目を避けるように夜明け前に現場にやってきて、国道から斜面にフェロシルトを落としていったという。

「一見して普通の土ではなかった。話を聞くと、まるで残土の不法投棄のようだった」と現場を確認した土岐市議の金津保さんは話す。

瑞浪市稲津町の現場では、名古屋市の男性が、申請の必要な砂防指定地内に、勝手に一万トンのフェロシルトを山積みし、県から何度も指導を受けていた。

愛知県瀬戸市の放置現場から可児市大森にフェ



フェロシルトの野積み現場で放射線を計る市民団体メンバー＝瑞浪市稲津町で

トによるものかどうかはまだ分かっていないが、石原産業は「フェロシルトは安全」との立場を崩していない。安藤正義同社四日市工場長は「工場からの出荷時には六価クロムは検出されていない。施工方法に問題があった」と説明した。

石原産業は岐阜県内の全量を撤去すると表明したが、これまでに同社は東海三県に計七十万トンものフェロシルトを販売している。金津さんは「フェロシルトは本当に安全なのか、市民の不安を解消するためにも石原産業はあらためて住民に説明する必要がある」と訴える。

規制の網 するり

た。しかし、その後の調査で新たに美濃加茂市、本巣市の二カ所で使用を確認。その他三方所でも使用の疑いが見つかり、同社が確認作業を進めている。総量は当初の予想の三万トンを上回る見込みだ。

同社は、使用の疑いのある場所も含め、新たに判明した五カ所について「搬入の事実を把握できていなかった」と話す。県によると、各地にフェロシルトを転売していた業者が販売実績を正式な帳簿に残していなかったことが原因らしい。

このような販売実態を「放射能のゴミはいくら



新たにフェロシルトの埋め立てが確認された本巣市の農地＝本巣市早野で

この企画は、多治見支局・小西数紀が担当しました。

商品化“甘い”基準

製造過程で出る排液を再利用したものの。同社は酸化チタンの国内シェア約30%を占める大企業。フェロシルトの国内シェア約30%を占める大企業。フェロシルトの国内シェア約30%を占める大企業。フェロシルトの国内シェア約30%を占める大企業。

現在、基準値以下の放射線量ならばチタン廃棄物のリサイクルを規制する法律はない。放射線の問題に詳しい四日市大学講師の河田昌東講師(環境科学)は、「産廃ならば一定の管理に置かれるが、商品になると流通の末端まで管理が行き届かなくなるのが問題。チタン廃棄物のリサイクルに対する規制が必要ではないか」と訴えている。

赤い土の波紋

フェロシルト放置の現場

岐阜県の検査でフェロシルトを含む土壌から、環境基準を上回る六価クロムが検出されたことを受け、石原産業が県内に搬入された全量を撤去する方針を表明した時、県が確認していたフェロシルトは、可児市、土岐市、瑞浪市、恵那市にある五カ所の三万トンだった。

放射性物質

放射性物質を含む商品を石原産業が販売し、三重県がリサイクル推奨品として認定をしたこととは、当初かる。しかし、同社や三重県一歩は、この基準値をリサイクル商品の安全性にそのままだてはめることには大きな溝がある。同

いー市民ネット・岐阜」代表の兼松秀代さんは「フェロシルトの販売方法はまずい。このほかにまだ搬入先が判明してもおかしくない」と批判する。



チタン廃棄物の放射線

酸化チタンの原料となるチタン鉱石には、微量ながら放射性物質であるウランやトリウムが含まれる。1990年に、チタン廃棄物を埋め立てた岡山県の産廃処分場で問題化。91年に科学技術庁(当時)などが、空間放射線量が1時間当たり0.14μSv以下ならば、放射性廃棄物ではなく通常の産業廃棄物として処理できるとの通達を出した。今回の県の調査ではフェロシルトが放置された現場の放射線値は自然界と同程度。

岐阜支社
 〒500-8875
 岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
 058(265)0191
 Fax(262)8706
 (販売) (265)0265
 (広告) (266)4791
 (事業) (265)0267

多治見支局
 0572(22)3121
 Fax(23)5331

大垣支局
 0584(78)2030
 Fax(74)6460

高山支局
 0577(32)0350
 Fax(34)5215

関支局
 0575(22)3234
 Fax(24)3939

中日新聞へのご意見は
 読者センターへ
 052(221)0800
 Fax(221)0819
 Eメール
 center@chunichi.co.jp